

令和5年3月8日  
国土交通省関東地方整備局  
総務部

## 関東地方整備局入札監視委員会 審議概要 (第二部会 第3回定例会議)

関東地方整備局入札監視委員会第二部会の第3回定例会議が、令和5年2月9日、横浜市内で開催され、工事2件、建設コンサルタント業務等2件、物品・役務の提供等1件の入札結果が審議されました。

審議内容は別紙のとおりです。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 埼玉県政記者クラブ 神奈川建設記者会 横浜海事記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 総務部

電話：045-211-7413 (代表)

メールアドレス：pa.ktr-keichou@mlit.go.jp

契約管理官 田口 由美子 (たぐち ゆみこ) (内線：5880)

経理調達課 課長 磯谷 智彦 (いそたに ともひこ) (内線：5870)

品質確保室 室長 廣瀬 好明 (ひろせ よしあき) (内線：5797)

## 令和4年度

### 関東地方整備局 入札監視委員会第二部会第3回定例会議 審議概要

開催日及び開催場所	令和5年2月9日(木) 関東地方整備局 131・132会議室	
委員	手塚 広一郎(日本大学 経済学部長) 渡 邊 健 治(東京大学大学院 教授) 土 屋 志 穂(拓殖大学 准教授)	
審議対象期間	令和4年7月1日～令和4年9月30日	
審議案件	総件数	5件
工 事 一般競争入札方式		2件
	政府調達	0件
	政府調達以外	2件
建設コンサルタント業務等		2件
物品・役務		1件
委員からの意見・質問、 それに対する説明・回答等	意見・質問	説明・回答
	別添のとおり	別添のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	特になし	

○ 問い合わせ先

横浜市中区北仲通5丁目57番地 横浜第二合同庁舎

電話 045-211-7413 (経理調達課)

国土交通省関東地方整備局 入札監視委員会第二部会事務局

契約管理官 田 口 由美子

経理調達課長 磯 谷 智彦

品質確保室長 廣 瀬 好明

意見・質問	説明・回答
<p>【報告事項】</p> <p>(1) 入札・契約手続の運用状況等報告  (2) 指名停止等の運用状況等報告  (3) 談合情報等の対応状況報告  (4) 不調・不落の発生状況報告  (5) 事務所毎の平均落札率の推移</p> <p>(1)～(5) 報告内容に対する意見・質問なし</p>	
<p>【事案1】</p> <p>一般競争入札方式（政府調達以外・空港等舗装工事）  「令和4年度 東京国際空港西側貨物地区他エプロン舗装版撤去等工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• なぜ2回目の入札で2者辞退されているのか。</li> <li>• 入札価格の内訳で、殻（特定建設資材廃棄物）処分価格について、予定価格と入札価格の単価の間で差が生じて、辞退者が出ており、入札結果に影響を与えていると思うが、この部分についてより競争性を高めるような改善策はあるのか。</li> <li>• 殻処分に当たっては、企業の事情によって処分の仕方が違っているようだが、不法投棄などの社会的な問題も生じており、処分価格が安ければ良いとも言えないと感じている。殻処分に当たっては、適正に処分されていることが大事だが、これだけ入札価格に差が出てくることは、処分のされ方も注視した方が良いのではと考えるが、この点、どこまで確認しているのか伺いたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 入札辞退を行った企業に対してヒアリングを実施したところ、両者とも1回目の入札結果から採算が合わないと判断し、2回目の入札を辞退したことを確認しています。</li> <li>• 今後、公表可能な単価を設定・公表した上で入札を行い、契約後に受注者の責によらない理由にて変更が生じた場合には、処分可能な施設及び価格の調査を発注者があらためて実施して契約変更を行うなど、実態に即した単価設定を行っていくことを検討しているところです。</li> <li>• 再生資源の利用については、建設リサイクル法において、分別解体に伴って生じた特定建設資材廃棄物の再資源化が受注者に義務づけられています。また、特定建設資材廃棄物の再資源化が完了した時は、その旨を発注者に書面（マニフェスト）で報告することが定められております。発注者としては、提出されたマニフェストから、工事にて発生した特定建設資材廃棄物が適正な処分場で処理されていることを確認しており、受注者が不法投棄を行うことはないと考えています。</li> </ul>

意見・質問	説明・回答
<p>・評価の項目について、「地域精通度、地域貢献度」が入っている。これは、総合評価方式の違いによるものと理解してよいか。</p>	<p>・「地域精通度、地域貢献度」の評価項目はS型WTO及びチャレンジ型を除く「施工能力評価型」または「技術提案評価型」の総合評価落札方式の選択項目として設定しています。本工事にあたっては、「技術提案評価型」を採用していますが、「地域精通度、地域貢献度」は、「現場の施工環境を良く理解しているか、地域貢献が期待できる企業であるか」などの観点から設定しています。</p>
<p>【事案2】 一般競争入札方式（政府調達以外・港湾土木工事） 「令和4年度 東京湾中央航路北側護岸他付帯工事」</p> <p>・第二海堡における工事は、地盤の液状化による地表面の沈下を完全に抑えるような対策をしているようにも見受けられるため、結果として工事難易度が上がり、複数者の手が拳がりにくい状況となっているのではないかと懸念されています。詳細は分からないが、もしそうだとすれば、要求性能に応じた地盤改良の規模・対策範囲を見直す事は有り得ないのか。</p> <p>・一者応募となった理由を伺いたい。また、その中で今回改めて、入札方式で「施工能力評価型Ⅰ型」を選択した理由は何か。</p>	<p>・事業着手前において、事前に想定される最大地震動によりシミュレーションを実施した結果、航路側に面していない北側も経年で崩れることが想定されるとともに、第二海堡は千葉県の埋蔵文化財としての指定箇所であることも考慮した上で現場を保全するため、矢板で囲う設計が最適と考えたものです。基本的には、離島という地理的条件により採算性が低いのですが、現段階でも様々な工夫をしているところであり、今後も引き続き工法や契約方式等の工夫を取り入れて対応して参ります。</p> <p>・入札説明書をダウンロードした者は59者ありましたが、結果として、1者の参加申請がありました。参加されなかった数者にヒアリングをしたところ、「離島という特殊な環境のため、自社積算との乖離があること」や「技術者を確保できなかった」との回答を得ております。</p> <p>また、入札方式については、総合評価落札方式の施工能力評価型は工事規模や技術的工夫の余地が小さい工事を対象としており、本工事は工事規模が小さいことから施工能力評価型が最適であると判断しました。</p> <p>なお、施工能力評価型にはⅠ型とⅡ型があり、双方とも配置予定技術者の能力を評価し、Ⅰ型は加えて施工計画の提案を評価するものです。本工事は、施工上の品質確保の難易度が高く、コンクリートの品質を保つ方法や打設方法などの提案を求める必要が</p>

意見・質問	説明・回答
	あることから、I型を採用しました。
<p>【事案3】 簡易公募型競争入札方式（建設コンサルタント等） 「令和4年度 茨城港常陸那珂港区整備検討業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入札参加者の応札金額がいずれも僅差という状況の中で、他の参加者と比較して、1位の者（落札者）が評価された項目について教えていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術評価点1位と2位の者の「配置予定技術者の経験及び能力」、「実施方針等」、「評価テーマに対する技術提案」を比較しますと、1位の者は「配置予定技術者の経験及び能力」において、配置予定技術者が過去の業務で表彰を受けていたことから、2位の者と開差が生じたものです。</li> </ul>
<p>【事案4】 簡易公募型プロポーザル方式（建設コンサルタント等） 「令和4年度 東京港中央防波堤外側地区国際海上コンテナターミナル船舶航行安全対策検討業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Y2岸壁を施工した時もY1岸壁が存在していたので、同じような業務の契約があったと思われるが、その時も1者入札であったのか。</li> <li>高度な技術力を有する者から幅広く知見がほしいという一方で、1者申請が続いているという状況が気になるが、どのように解消していけば良いと考えているか。</li> <li>1者申請が続いており、目安の価格（業務規模）が開示されていて、毎回、公益社団法人が落札している状況であることから成果物の精査が重要と考えられるが、どのように価格の設定を行っているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Y2岸壁を施工する際も類似業務を発注しており、1者応札でした。</li> <li>1者申請が続いていることを認識していますので、今年度の発注に当たっては技術要件を拡大して類似業務の設定を行う工夫をしましたが、結果は1者の参加申請でした。 入札説明書のダウンロードを行った者は複数存在している事を確認していますが、配置予定技術者が配置できないという理由で入札参加に至らない状況であることを把握しています。今後、この状況を踏まえて、幅広く参加申請して頂けるような工夫を考えて参ります。</li> <li>価格の設定については、過年度までの検討の実績を踏まえて航行安全対策の検討にかかる人件費を設定し、他の項目は「港湾請負工事積算基準」に基づいて算定しています。</li> </ul>

意見・質問	説明・回答
<p>【事案5】 一般競争入札方式（役務の提供等） 「令和4年度 川崎港東扇島地区基幹的広域防災拠点 訓練運営支援業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入札結果を見ると、1者は予定価格付近で入札しており、残りの2者はかなり安価となっている。応札者によって、このような価格差が出たことに対する貴局の見解を伺いたい。</li> <li>業務内容に機械除草、会場設営、警備員の配置、司会進行がある。防災訓練は非常に重要であり、専門知識をある程度有していないと実施できないのではないかと思うが、入札に参加している企業の中には一般に、そのようなイメージが無い業者も参加しているように見受けられており、業務履行上の問題は生じないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>落札した企業の担当者に入札価格についてヒアリングしたところ、昨年度に同業務を担当し、入札価格を算出した経験から予定価格よりもだいぶ安価な価格算出が可能だったことを確認しております。例えば、除草については昨年度に東扇島東公園の機械除草を請け負った業者の見積を元に安価な設定が可能だったこと、机・椅子等は自社所有であるため、リース品を計上していた当局積算よりも安く設定することが可能であったことなどが確認できたため、業務履行には問題ないと判断いたしました。</li> <li>本業務は会場設営が主たる業務であり、そのノウハウを有している企業であれば、企業イメージに関係なく、業務履行には問題が生じておりません。</li> </ul>
<p>【まとめ】 本日の審議に関して、特に意見の具申及び勧告等はなし。</p>	

## 【工事】

入札方式	工事名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の 数	入札参加 者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
一般競争入札方式	令和4年度 東京国際空港西側貨物地区他エプロン 舗装版撤去等工事	空港等舗装工事	3	3	R4.7.11	鹿島道路株式会社	351,450	99.7	
一般競争入札方式	令和4年度 東京湾中央航路北側護岸他付帯工事	港湾土木工事	1	1	R4.7.28	東洋建設株式会社	563,200	99.9	

## 【建設コンサルタント等】

入札方式	業務名	業種区分	競争参加資格を確 認した者の数	入札参加 者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
簡易公募型競争入札方 式	令和4年度 茨城港常陸那珂港区整備検討業務	建設コンサルタ ント等	5	5	R4.9.8	パシフィックコンサルタンツ株式会社	18,095	79.7	
入札方式	業務名	業種区分	手続への参加資格 及び業務実施上の 条件を満たす参加 表明書の提出者数	技術提案 書の提出 者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
簡易公募型プロポーザ ル方式	令和4年度 東京湾中央防波堤外側地区国際海上コ ンテナターミナル船舶航行安全対策検討業務	建設コンサルタ ント等	1	1	R4.9.13	公益社団法人東京湾海難防止協会	10,043	96.8	

## 【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業務名	業種分類	競争参加資格を確 認した者の数	入札参加 者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
一般競争入札方式	令和4年度 川崎港東扇島地区基幹的広域防災拠点 訓練運営支援業務	役務の提供等	3	3	R4.9.5	株式会社キープ	2,398	39.7	